

令和4年度 全国学力・学習状況調査 和泉市調査結果概要

調査について

【調査の目的】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【調査の対象】

小学校調査：小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年

中学校調査：中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年

【調査内容】

教科に関する調査：小学校調査は、国語、算数、理科・中学校調査は、国語、数学、理科

質問紙調査：児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

【調査実施日】

令和4年4月19日 火曜日

※本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

結果概要

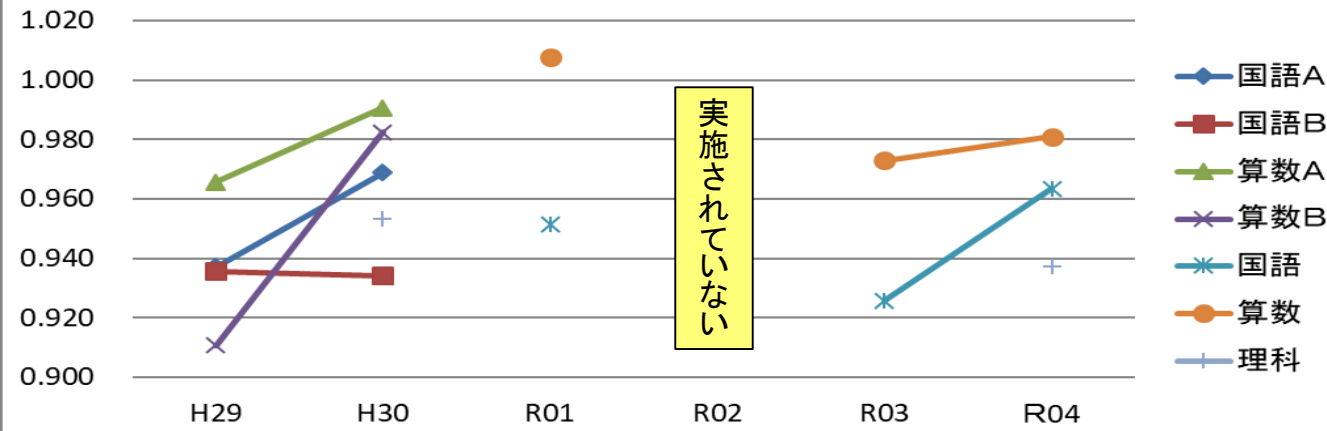
<小学校>

- ・平均正答率については、昨年度と比べて国語・算数ともに上昇傾向。特に国語については大きく向上する結果となった。全国平均値・大阪府平均値を下回っているが、差はほぼないまでに縮まった。
- ・無解答率については、算数で改善が見られた。

<中学校>

- ・平均正答率については、一昨年度と比べて国語・数学ともに大きく上昇し、大阪府平均値とほぼ同様の結果となった。全国平均値との差も縮まっている。
- ・無解答率については、一昨年度と比べると国語・数学ともに改善が見られた。経年でみると徐々に改善傾向にある。特に数学の無解答率が大きく改善した。

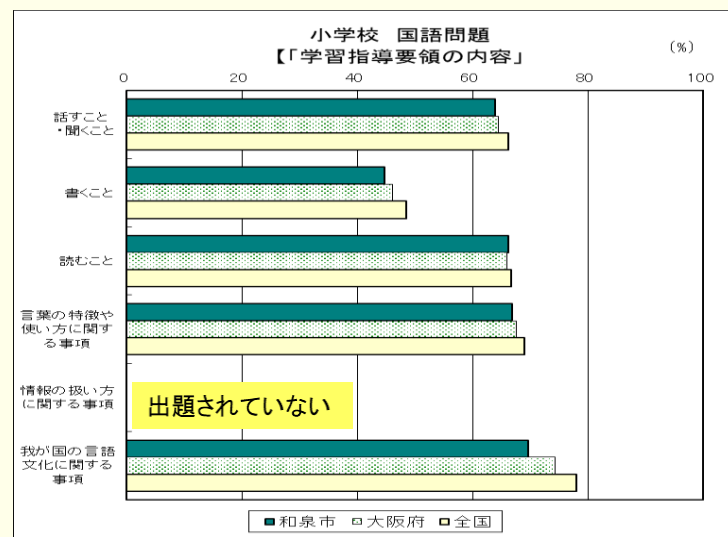
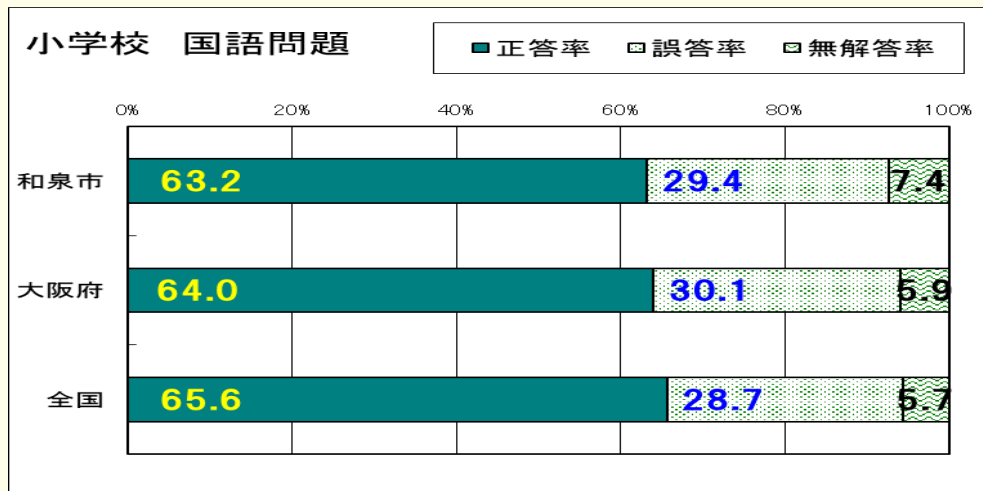
小学校 H29～R04 正答率(対全国比)



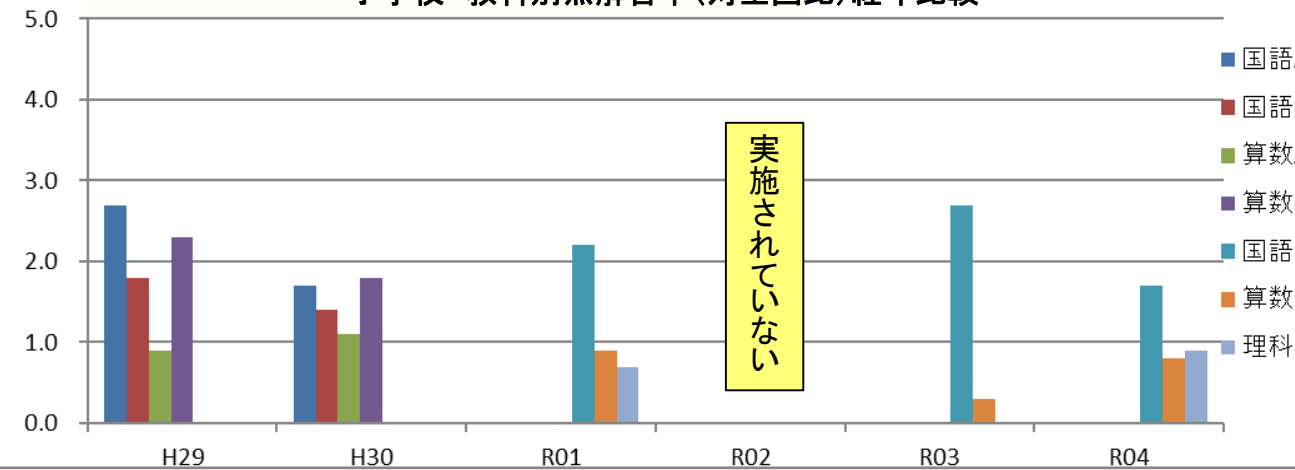
小学校 国語

○平均正答率は、63.2%で全国を2.4ポイント下回り（対全国比0.963）、府を0.8ポイント下回った（対府比0.988）。

○「読むこと」は全国水準となっているが、「書くこと」に課題が残る。記述式の無解答率について、全国や府との差が縮まっている。



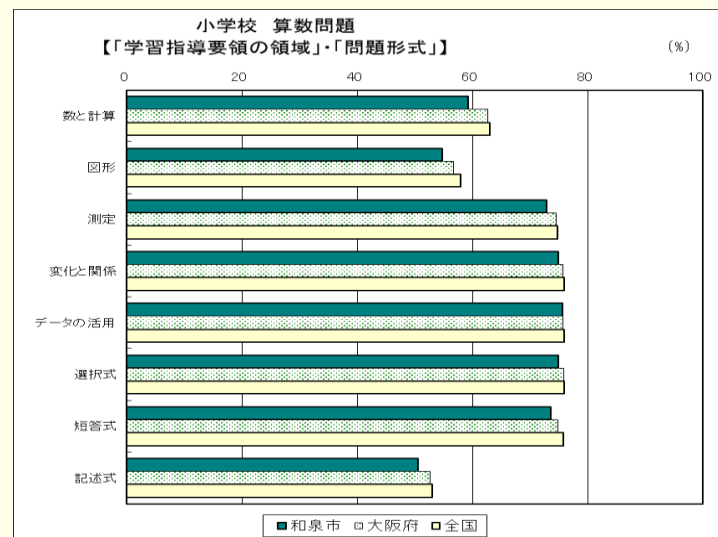
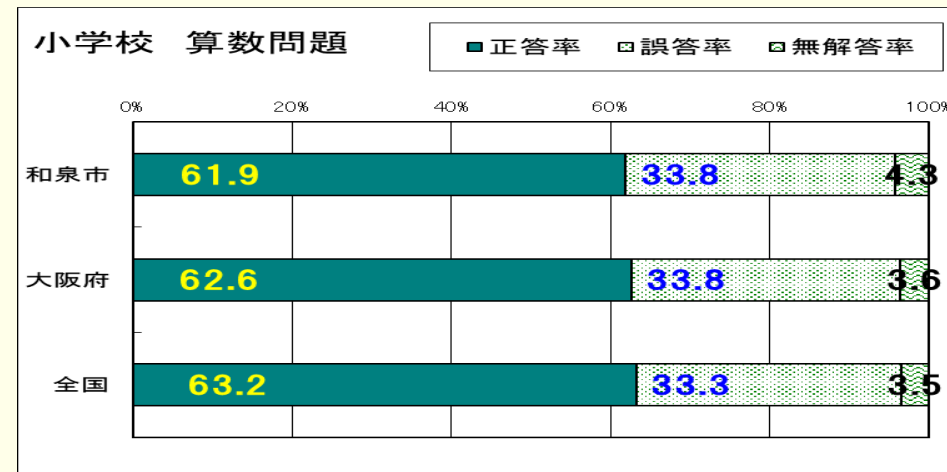
小学校 教科別無解答率(対全国比)経年比較



小学校 算数

○平均正答率は、61.9%で全国を1.3ポイント下回り（対全国比0.979）、府を0.7ポイント下回った（対府比0.989）。

○全国との比較ではほぼ同水準となっているが、特に「数と計算」「図形」の領域、「記述式」の問題形式では、全国と比較すると数値が低くなっており、課題がある。しかし、「記述式」の問題形式では、昨年度と比べて無解答率に改善がみられる。



* 正答率対全国比：市平均正答率÷全国平均正答率

* 無解答対全国差：市無解答率-全国無解答率

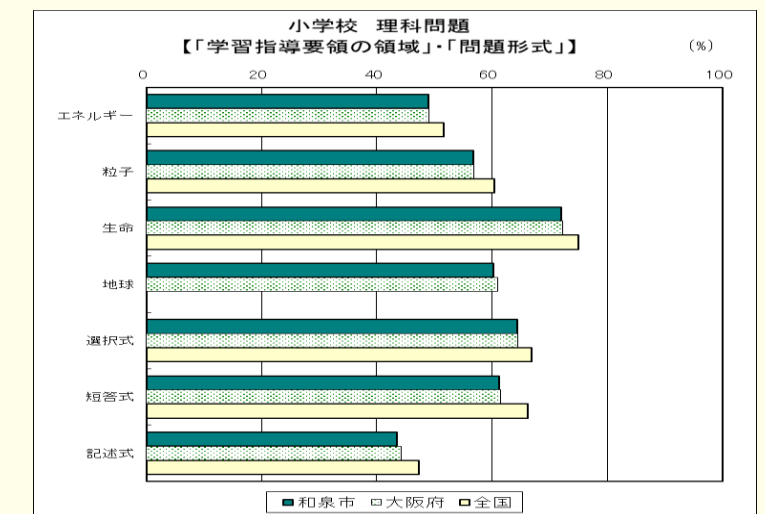
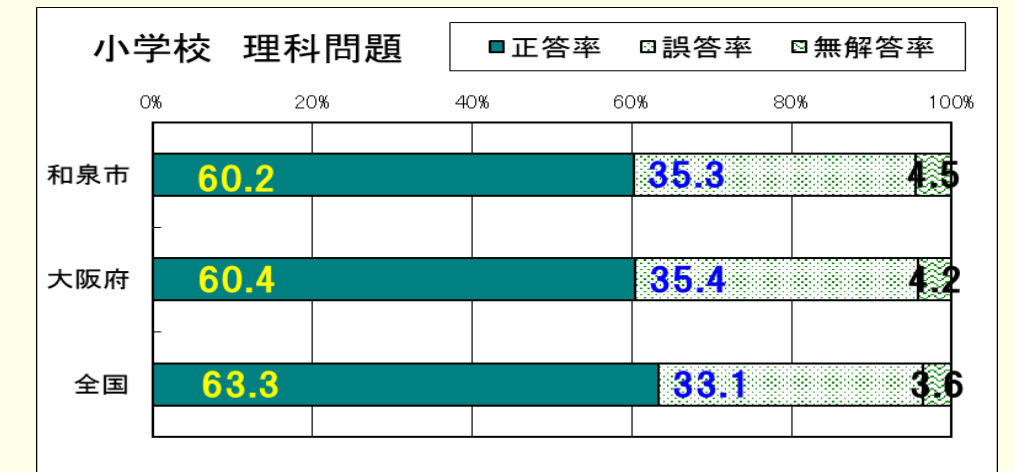
* 平成30年度までは各教科A・Bの2区分あり

* 令和2年は全国学力・学習状況調査は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施されませんでした。

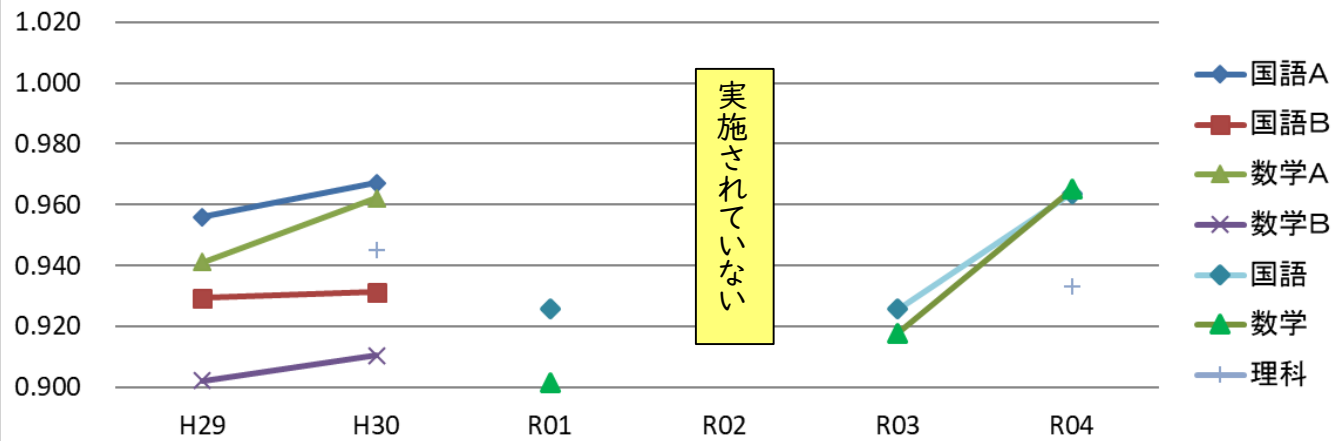
小学校 理科

○平均正答率は、60.2%で全国を3.1ポイント下回り（対全国比0.951）、府を0.2ポイント下回った（対府比0.996）。

○全国との比較ではすべての領域・問題形式で数値が下回っており、特に「エネルギー」、「粒子」の領域、「記述式」の問題形式では、全国と比較すると数値が低くなっており、課題がある。



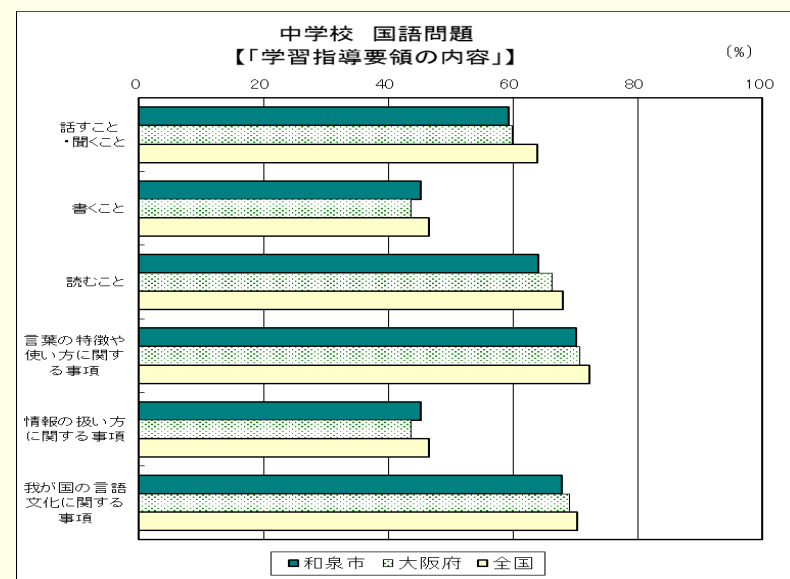
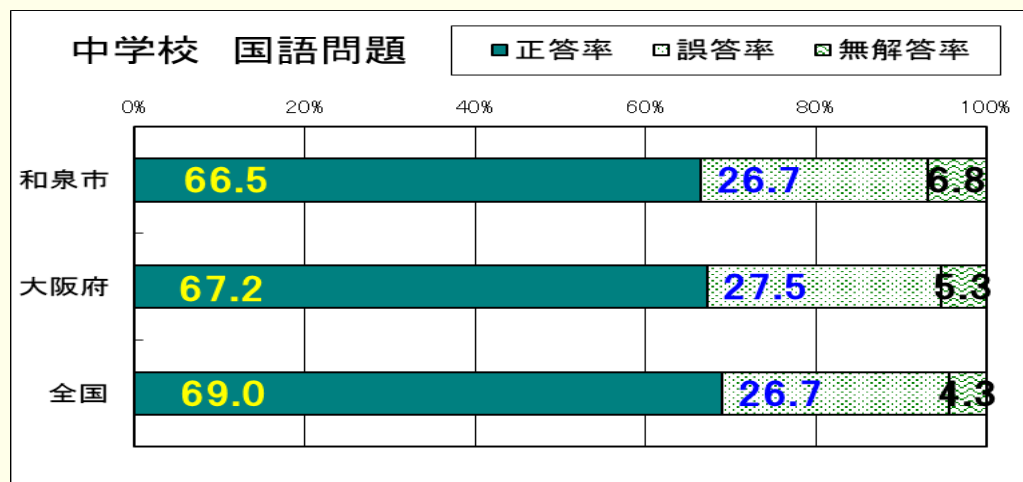
中学校 H29～R04 正答率(対全国比)



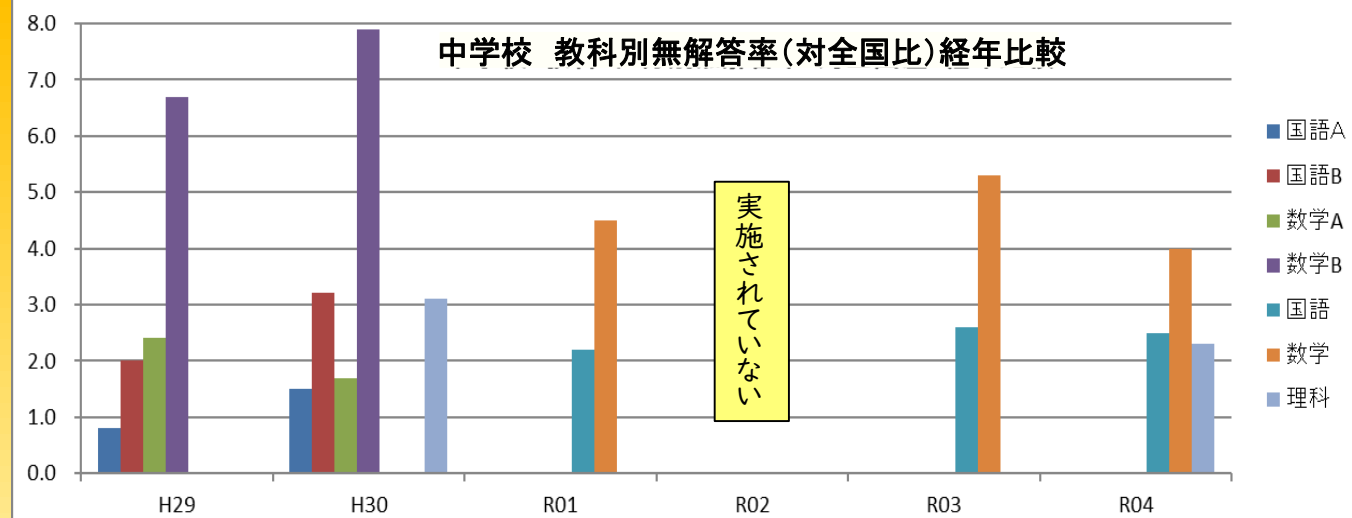
中学校 国語

○平均正答率は、66.5%で全国を2.5ポイント下回り(対全国比0.964)、府を0.7ポイント下回った(対府比0.988)。

○記述式の問題の無解答率が高いが、正答率では「書くこと」「情報の扱い方に関する事項」が府の数値を上回り、全国と同水準となった。



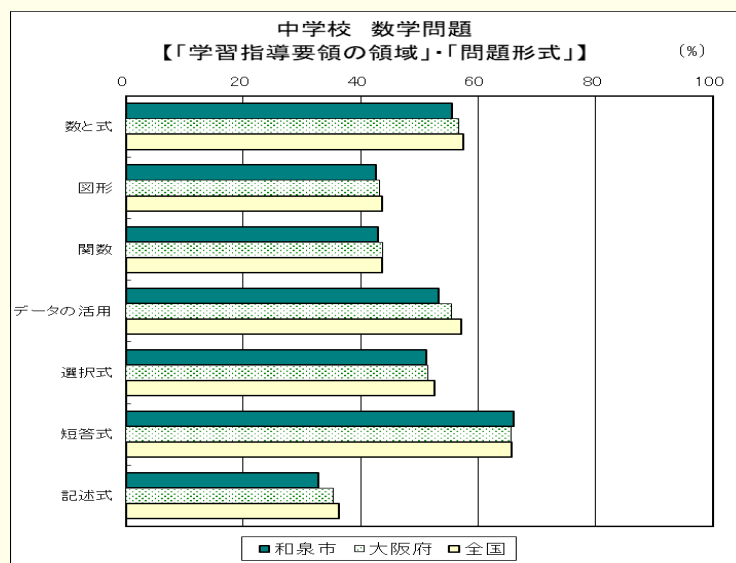
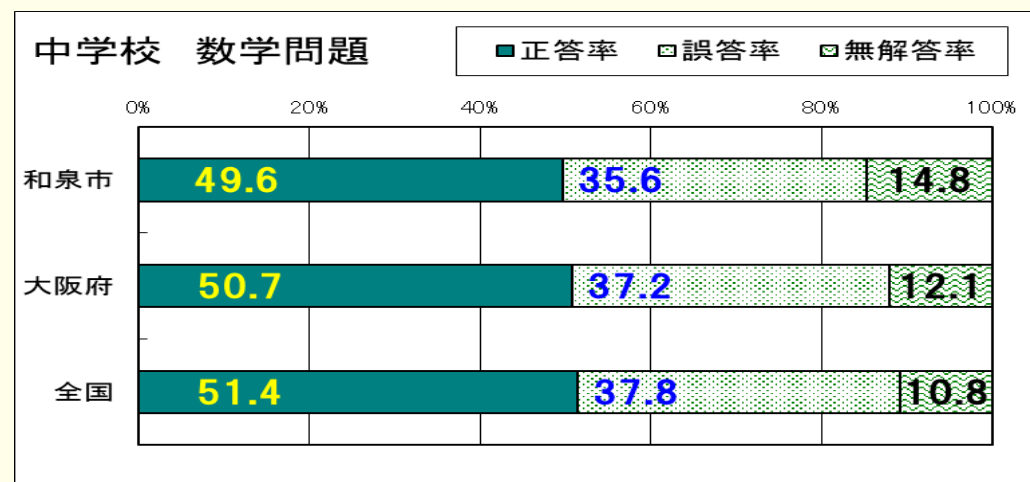
中学校 教科別無解答率(対全国比)経年比較



中学校 数学

○平均正答率は、49.6%で全国を1.8ポイント下回り(対全国比0.986)、府を1.1ポイント下回った(対府比0.994)。

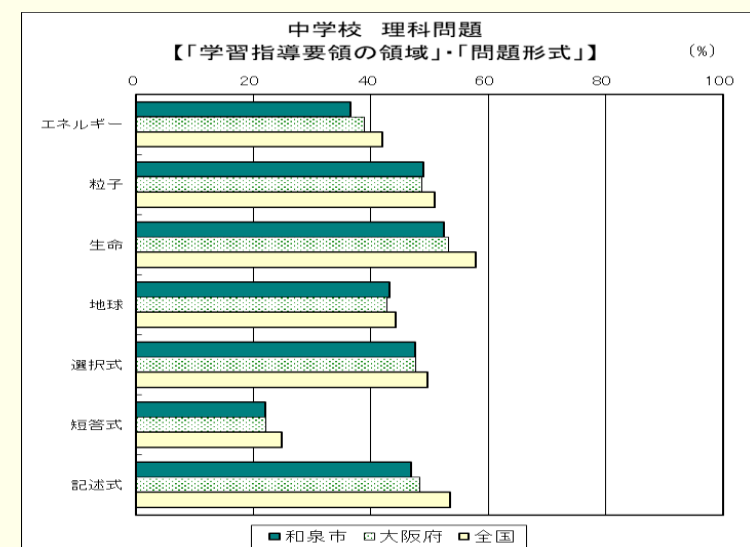
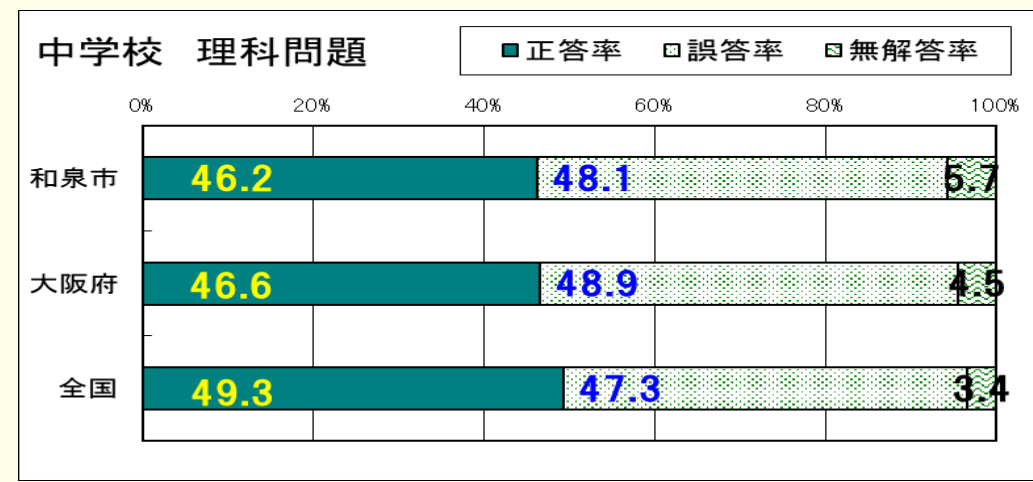
○特に「データ活用」の領域の正答率が低い。「短答式」の問題では全国をやや上回っているものの、「記述式」の問題形式では、課題がある。



中学校 理科

○平均正答率は、46.2%で全国を3.1ポイント下回り(対全国比0.933)、府を0.4ポイント下回った(対府比0.997)。

○全国と比較すると全ての領域・問題形式で数値が低くなっており、特に「エネルギー」を柱とする領域、「記述式」の問題形式では、課題がある。



* 正答率対全国比：市平均正答率÷全国平均正答率

* 無解答対全国差：市無解答率-全国無解答率

* 平成30年度までは各教科A・Bの2区分あり

* 令和2年は全国学力・学習状況調査は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施されませんでした。